

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2896号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

6/1

平成22年
(2010)
(火曜日)
週刊

関西物流センターの計画と実績

	計画		実績	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
平成21年度	35億円	△3億円	35.3億円	△2.8億円
平成22年度	38億円	△1億円	(40億円)	(△1.3億円)
平成23年度	41億円	1億円	—	—

(注)カッコ内は予想

関西物流Cが軌道に

名糖運輸 売上、計画を上回る

名糖運輸(本社・東京都武蔵野市、中西広明社長)が昨年二月に稼働した関西物流センターの運営が軌道に乗った。今期売上高は計画を二億円上回り、四十億円程度となる見通しだ。表。

夏場に需要の大きい飲料に加え、「通年で安定した物量が見込める商品の取り扱いが全体の約三割あり、その効果が大きい」と中西社長。サイクルの短い商品サイズばくためのスペースはすでに満杯で、在庫品を置く自動倉庫に若干の空きがある状態という。

課題は利益改善。今期の経常利益予想は一億三千万円の赤字で、計画を三千万円下回る。配送ルート上の再編や倉庫内作業の動線の見直し、業務標準化などで対応する。立ち上げ時の安定稼働

を確保するために人や車を多めに投入しており、「徐々に合理化を進めて営業強化を図っていく」(滝沢昭会長)。

「おおむね当初の計画通り進んでいる(中西社長)として、原価償却費の負担が小さくなる平成二十四年三下期には黒字化を達成する。

(矢田 健一郎)